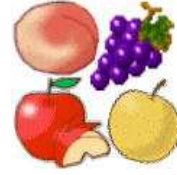




平成23年度 果樹情報 第14号

(平成23年10月18日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (10月1～3半旬：果樹研究所)

平均気温は1半旬が13.0℃で平年より4.8℃低く、2半旬が15.2℃で平年より1.0℃低く、3半旬が15.7℃で平年より0.2℃低く経過しました。この期間の降水量は50mmで平年の80.4%でした。

2 土壌の乾燥状態 (果樹研究所)

10月16日現在の土壌水分(草生栽培リンゴほ場：無かん水)は、深さ20cmがpF2.4、深さ40cmがpF1.9、深さ60cmがpF1.9でそれぞれ適湿となっています。

3 生育概況 (10月14日現在：果樹研究所)

表 主要品種の果実肥大
(果樹研究所 10月13日調査)

果実肥大	リンゴ	
	ふじ	
	縦径	横径
実測値(mm)	82.0	91.6
平年比(%)	101	104

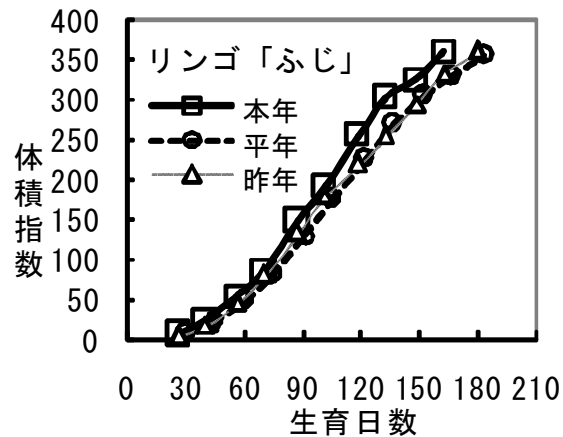


図1 主要品種の果実肥大

(果実の生育日数比較 果樹研究所10月14日調査)

(1) リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が平年比101%、横径が平年比104%で平年よりやや大きい状況です。また、果実の生育日数による比較でも、平年よりやや大きい状況です。

10月14日現在の「ふじ」の果実の成熟状況(満開後162日)は、果肉硬度は平年より高く、デンプンの消失は平年よりやや遅れており、糖度は平年よりやや高く、酸度はほぼ平年並みの状況でした。また、アントシアニン含量は平年並みで着色はほぼ平年並みに推移しています。

また、外部裂果発生率は10%(昨年：10%)、内部裂果発生率は24%(昨年：20%)の状況となっています(調査果実数：50果)。

4 栽培管理上の留意点

(1) リンゴ

ア 「ふじ」の収穫前管理

摘葉、玉回しは、遅れないように実施しましょう。

イ 「玉林」の収穫

未熟果(緑色果)を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫してください。収穫適期は、果皮色が全体に黄色みを帯び、がく

あ部付近にやや緑色が残っている状態の時です。果面から緑色が消えた黄色果は貯蔵性が低下します。

ウ 「ふじ」の収穫

着色や蜜入り状況とともに食味を確認し総合的に判断してください。蜜入り指数が2以上の完熟果実を収穫しましょう。

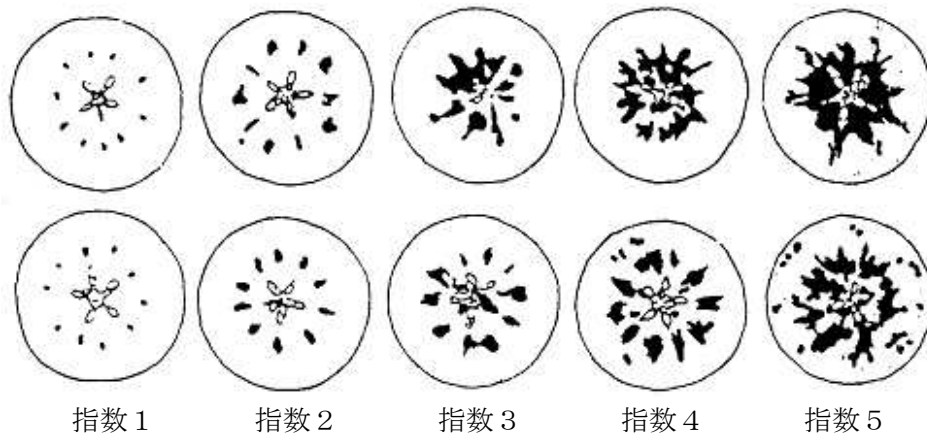


図2 リンゴの蜜入り指数

5 病害虫防除上の留意点

(1) 病害

ア モモせん孔細菌病

本病の発生が認められ、秋期防除の2回目の防除を逃した園では、落葉前の10月中旬までに必ず実施しましょう。秋期防除を2回行ったほ場でも本病の発生が多かった園地では、落葉前までにさらに1回追加で防除（計3回）を実施して感染を防止しましょう。

イ ナシ黒星病

翌年の越冬伝染源密度を低下させるため、「豊水」の収穫後、10月下旬までに2回目の秋期防除を行いましょ。発生が多かったほ場では、落葉前までにさらに1回追加で防除（計3回）を実施して感染を防止しましょ。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょ。